

第50回「感性研究フォーラム」講演会

感性の研究の未来

主催：繊維学会研究委員会「感性研究フォーラム」

協賛：一般財団法人日本繊維製品消費科学会、一般社団法人日本色彩学会、一般社団法人色材協会、
一般社団法人日本家政学会

日時：2019年6月22日（土）13:00～16:30

場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）中会議室1

ドーンセンターへのアクセス：<http://www.dawncenter.or.jp/top/index.jsp>

京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を歩いて1番出口より東へ約350m。

地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。

JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

マップ：<http://www.dawncenter.or.jp/shisetsu/map.html>

プログラム：

13:00 受付

13:30 開会挨拶

神戸松蔭女子学院大学 徳山孝子
(研究委員会「感性研究フォーラム」委員長)

13:30～14:30 コミュニケーションⅠ（講演）

『プロダクトデザインにおける感性価値のメトリック』

関西学院大学理工学部 教授 長田 典子

QOL（生活の質）が問われる現代社会において、楽しさや感動といった心の豊かさをもたらす新しい科学技術が求められます。講演では、人の感じ方を定量化し、製品設計に役立つ客観的なものさし（メトリック）を作る感性価値創造研究を紹介し、また「音を聴くと色が見える」等の共感覚現象（クロスモダリティ）のしくみとメディア応用の話題や、COI（センター・オブ・イノベーション）プロジェクト「感性とデジタル製造を直結し、生活者の創造性を拡張するファブ地球社会創造拠点」の活動もあわせて紹介します。3Dプリンタ等による個人のものづくりが世界に広まる中、感性価値のメトリックが社会の価値観を先導する役割を果たします。

14:30～14:50 質疑応答（フリーディスカッション）

14:50～15:00 休憩

15:00～16:00 コミュニケーションⅡ（講演）

『化粧と絵画における顔画像の空間周波数特性』

神戸松蔭女子学院大学人間科学部 教授 鳥居 さくら

画像の明暗パターンは空間周波数の特性を用いて記述することができます。輪郭にあたる幅の細かい明暗変化の情報は高い、ぼやけて見えるような幅の広い明暗変化の情報は低い空間周波数帯域の情報です。化粧を施した顔画像や絵画で表現された顔を空間周波数特性の視点で考えます。

16:00～16:20 質疑応答（フリーディスカッション）

定員：30名

参加費：一般3,000円、学生1,000円、研究委員会会員・協賛団体関係者1,000円

申込：参加申込は必要ありません。当日、受付でお支払い下さい。

問合せ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208

一般社団法人繊維学会(内) 感性研究フォーラム事務局

TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp